

強くしなやかな組織を築く。

持続可能な調達の追求

原料・資材・商品などの調達において、これまで重視してきた品質・安全性の確保、適正な価格、安定供給に加え、お取引先様とともに人権・労働・安全衛生への配慮、地球環境の保全、公平・公正な取引に取り組めます。お取引先様との信頼関係をさらに発展させ、持続可能な調達活動への責務を果たします。

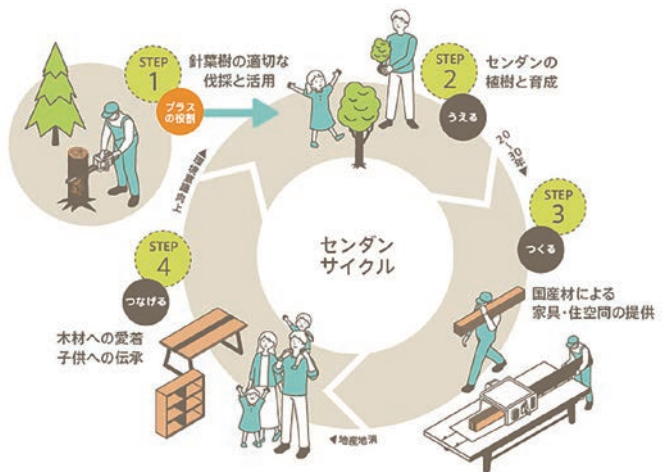


1 天然木・国産木材の活用による環境への貢献

■ 木材循環システムの構築を目指し「センダンサイクル」へ参画

プラス株式会社は、国産材活用プロジェクト「MOKURAL」(→P.37)の下、2022年に協同組合福岡・大川家具工業会地域材開発部会が主催する「センダンサイクル」に参画しました。

国産早生広葉樹であるセンダンは、スギやヒノキなどの針葉樹に比べて成長速度が早く、CO₂吸収能力は一般的な広葉樹と比較して約3倍高いといわれています。「センダンサイクル」ではその特長を生かし、放置針葉樹を適切に伐採・活用し、そこへセンダンを植樹していくことで、山・森林が健全な状態を保ち続ける木材循環を構築することを目指しています。今後も、木材サプライチェーンの川上から川下をつなぎ、全国で地域材を用いた家具生産を推進するとともに、地元と一体となって持続可能な産業や環境負荷低減への貢献を目指していきます。



2 調達基本方針・調達基準を社内外へ周知

■ プラスグループ調達基本方針・調達基準に関する取り組み

プラスグループは、企業理念「新しい価値で、新しい満足。」のもと、社会的課題の解決に真摯に取り組み、さまざまなステークホルダーの期待や要望に応え、社会から信頼され、尊敬され、愛される企業を目指し、グループ一体となってサステナビリティ

活動を推進しています。2016年、お客様に安全・安心で環境や社会にも配慮された商品・サービスをお届けするため、お取引先様とともにサステナビリティの推進に取り組んでいくための基本となる「プラスグループ調達基本方針」を制定しました。

3 サステナビリティ監査の実施

■ 「人権デューデリジェンス」の実施

プラス株式会社は国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に則り、当社の事業活動によって影響を受ける全てのステークホルダーの人権を尊重しています。強制労働やハラスメント

等の人権リスクや人権への負の影響がないかを特定し、そのリスクを分析・評価して適切な対策を策定・実行する「人権デューデリジェンスのプロセス」の構築・実施に注力していきます。